

「ポスターおよびHP 掲載文」

平成 29 年 11 月 13 日～平成 29 年 12 月 1 日の間に川崎医科大学附属病院 で手術を受けられる患者さんへのお知らせ

課題名：汚染と粘着テープの関係

川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、当院において手術を受けられる患者さんに対して医療器具の固定に用いる粘着テープと器具の汚染に対する影響の調査をいたします。

手術中、安全に手術を行うため、患者さんの状態を把握するための様々な器具を装着いたします。その器具が体から外れないようにテープで固定することがあります。使用後にはテープを体や器具からはがしますが、テープの粘着成分が器具に残り、器具の汚染の一因となっていると考えられています。テープの種類によって汚染の程度に違いが生じるかを調べるのがこの研究の目的です。汚染の測定にはキッコーマン社製のルミテスターという測定器を用いて、汚染が考えられる部分の拭き取り測定を行います。本研究のために通常の行為と異なることは何らありません。なお、テープは医療用として認められていて、一般的によく使われているものを用います。

研究期間は、倫理委員会承認日～平成 29 年 12 月 15 日の予定です。

対象：平成 29 年 11 月 13 日から 12 月 1 日までに手術を受けられる患者さん。

手術や全身麻酔などは通常通りであり、特別なことは何もいたしません。器具の固定に使われるテープは当手術室で通常使用している 2 種類のものいずれかとなります。テープかぶれ等がある患者さんについては患者さんに適したものを使う、あるいはテープを使用しないとといった、通常の対応をとらせて頂きます。

新たに血液や組織など人体試料は採取しません。この調査においては、診療録より麻酔時間を抽出しますが、個人を特定できる情報は使用しません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いる可能性もありますが、その際には、研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究課題を実施する関係者には、丸石製薬(株)より奨学寄附金の受け入れ、および日油技研工業(株)より研究助成金等の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理しています。

また、本研究は研究責任者の教員研究費を用いて行われる研究です。

研究に関するお問い合わせは、お手数ですが、下記までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

担当者：所属 麻酔・集中治療医学 2 職名 講師 氏名 谷野 雅昭

TEL：086-462-1111（内線 25512） FAX：086-464-1190